

(3) 成果と課題及び指導改善のポイント

小学校国語（小学5年生、中学1年生）

成果(◇)と課題(◆)

- ◇ 平成30年度[12月調査]^{*}で「おおむね達成」の基準を下回っていた「間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする」ことを問う設問が、「おおむね達成」の基準を上回っており、改善の傾向が見られる。
(小学5年生²二、中学1年生²二)
- ◇ 漢字のへんについて理解することや熟語の構成について理解ができている。
(小学5年生⁵四、中学1年生⁵四)
- ◇ 話し手の意図を捉えながら聞いたり、目的や意図に応じて発言の構成を工夫しながら話したり、司会の役割を考えながら話し合ったりすることができている。
(中学1年生¹一二三)
- ◆1 理由を明確にして話す内容を構成したり、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問したりすることに課題が見られる。
(小学5年生¹五、中学1年生¹五)
- ◆2 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして書いたり、自分の考えを書いたりすることに課題が見られる。
(小学5年生²一、中学1年生²四)
- ◆3 叙述を基に登場人物の気持ちの変化を捉えたり、登場人物の相互関係や心情についての描写を捉えたりすることに課題が見られる。
(小学5年生⁴三、中学1年生³一)

* 平成30年度佐賀県小・中学校学習状況調査[12月調査]Web報告書 参照

指導改善のポイント（次の視点から授業を振り返り、チェック☑してみてください。）

- ◆1 理由を明確にして話す内容を構成したり、話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問したりする力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 話の展開に沿った質問のモデルを教師が演示したり、発言の型を具体的に示したりしていますか。
 - 話し手の意図は何か、自分の考えとどこが同じでどこが違うかなどを考えながら聞くことができるように聞くポイントを示していますか。
 - 事実と感想、意見を色分けしたメモ用紙に書かせたり、構成表を友達と見せ合ったりするような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆2 目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして自分の考えを書く力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 書く相手や目的、方法を明確にしたり、例文を示して具体的なゴールのイメージをもたせたりしてから学習に取り組ませていますか。
 - メモや構成表などを使って、事実と感想や意見を区別して書くことができるようにしていますか。
 - 理由や事例を挙げて書く際は、「なぜか」と～、「その理由は～」、「例えば～」などの表現を使ったり、文末の書き方を使い分けたりするとよいことを指導していますか。
 - 自分の書いた文章を読み返したり、互いに読み合って感想を伝え合ったりするような活動を授業に位置付けていますか。
- ◆3 叙述を基に、登場人物の気持ちの変化や心情についての描写を捉える力を育成するためには、次のような指導を行うことが大切です。
 - 場面ごとに読むだけでなく、物語全体に広がっている複数の叙述を関連付けて読むことができるように指導していますか。
 - 登場人物の心情を行動や会話、情景描写など本文に書かれていることを根拠にして読み取ることができるように指導していますか。
 - 物語の山場はどこか、山場で何がどのように変化したのか、変化のきっかけは何かなどを考えながら読み、登場人物の気持ちの変化について話し合う活動を授業に位置付けていますか。



他にも、ヒントがいっぱい。ぜひ、こちらもご活用ください！ → [ここをクリック](#)

佐賀県教育センターの「プロジェクト研究」では、新学習指導要領で示された三つの資質・能力を育成するために、日々の授業をどのように改善すればよいかを提案しています。質的改善のための具体的な手立て(方法)とその手立てに基づいた質的改善の営みを紹介していますので、ぜひ、ご活用ください。

誤答分析を基にした指導改善（小学5年生 国語科）

■ 設問の概要と結果

	出題の趣旨（出題方法）	設問の内容	県正答率	十分達成
問 4 三	叙述を基に、登場人物の気持ちの変化を捉える。（記述式）	物語の前半と後半で変化した、少年に対する少女の気持ちを条件に合わせて書く。	24.5	65.0
			無解答率	おおむね達成
			29.1	45.0

【正答の条件】 次の①、②、③の条件を全て満たしているものを正答とする。

- ① 少年に対する少女の気持ちを書いていること。
- ② 「白さぎ」という言葉を使って書いていること。
- ③ 「～からだと思うよ。」に続くように書いていること。

■ 誤答例と解説

児童の解答状況を分析した結果、次のような誤答傾向が見られました。

誤答例 1	誤答例 2	誤答例 3
<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の白さぎがくるまで見守ってあげていた（からだと思うよ。） ・少年は白さぎがひとりぼっちだと思って見ていて、仲間が来て安心して帰った（からだと思うよ。） ・少女は、少年の白さぎへの思いに気づいた（からだと思うよ。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・追いかけられたことがあるから苦手と思っていた（からだと思うよ。） ・仲間からもさげられてひとりぼっちでかわいそうだった（からだと思うよ。） ・今日の少年はおとなしかったから安心して白さぎをながめた（からだと思うよ。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・少女も、一人ぼっちだった白さぎに仲間が来て安心した（からだと思うよ。） ・白さぎを見ていて少女がやさしい気持ちになった（からだと思うよ。） ・白さぎが苦手だった（からだと思うよ。）
<p>少女の気持ちを書くのではなく少女の気持ちの変化のきっかけになった、少年の様子や行動を書いている。</p>	<p>少女の気持ちの変化ではなく、物語前半から山場に至る前の少年に対する少女の気持ちを書いている。</p>	<p>少年に対する少女の気持ちではなく、白さぎに対する少女の気持ちを書いている。</p>

■ 改善・充実に向けて

叙述を基に、登場人物の気持ちの変化を捉えることができるようにするためには、授業中に、次のような活動を設定することが大切です。

ふしぎにはらはたなかつた
ばって
おさげのさきをキュッとひっ
ばって
？
あ、白さぎ、ひとりぼっちじゃ
なくなつたから、もういいや
？
白さぎを見ている
少年のことが苦手
りゆうもなくおいまわされた

② 物語の前半と後半で登場人物の心情はどのように変化したのか、変化した場面や理由を考える。

① 文章のどこに着目すれば登場人物の心情を読み取ることができるか考える。

登場人物の気持ちはどこでわかりますか。

登場人物の行動や会話、場面の様子などから分かると思います。

「りゆうもなくおいまわされたことがある」と書いてあるので、少女は少年のことが苦手だったと思います。

少女は少年のことを物語の前半で「苦手」だと思っていたのに、後半でおさげをひっぱられても、はらがたなかつたのはなぜでしょう。

白さぎを見ている少年も、ひとりぼっちでさみしそうに見えたからだと思います。

「あの白さぎ、ひとりぼっちじゃなくなつたから、もういいや」という少年の言葉を聞いて、少年のことを本当は優しいと思ったから、苦手ではなくなつてきたのだと思います。

白さぎがひとりぼっちじゃなくなるまで見ていた少年のことを本当は優しい人だと思ったから、はらがたなかつたのだと思います。